

令和元年度全国高校総体 「審判員報告書」

C3・C4 種目 (男子新体操)

審判長 (前田 節夫)

1. 採点上打ち合わせた事項

- | |
|---|
| (1) 審判員の責務についての確認及び指導、審判員としてのマナーやモラルについての確認及び厳守すること、男子新体操の方向性についての確認。 |
| (2) 2019年採点規則改定について、特に実施減点幅の拡大についての確認。 |
| (3) ビデオ映像による共通理解及び採点練習の実施。 |
| (4) 構成審判団、実施審判団ごとに詳細な打合せ実施。 |
| (5) 観衆の拍手や見せ物で価値のない演技に影響を受けることなく信念に基づく判定を行うこと。 |

2. 採点上起こった事項とその処理

- | |
|---|
| (1) 団体競技における選手の服装について、採点規則の違反ではないが男子新体操の方向性としてふさわしいかどうかについて疑念が生じる。その他の減点としての減点は、行いませんが男子新体操としての望ましい方向への転換を望む。 |
| (2) 採点システムが審判員の不慣れや完成度が若干低いようであり、是正をお願いしたい。 |
| |
| |

3. その他特記事項・意見・感想等

- | |
|---|
| (1) 個人競技において、転回系の強化で得点力アップを図ろうとしていると見受けられるが、徒手の部分も同時に強化を図っていただきたい。 |
| (2) 個人競技において、難度不足を防ぐためにかシエネを実施することが多くなってきているが、下半身がきれいに実施出来ない選手が多くみられる。 |
| (3) 個人競技の速報発行に時間がかかりすぎた件について、得点処理委託された業者の経験不足による課題、審判員がこのシステムに不慣れであることと男女の得点集計方法が異なっているにもかかわらず同様な処理をされたことと考える。
団体競技では、急遽是正処置をお願いし、得点集計方法を変更させていただいた。事前に競技部長、採点システム担当、審判長等で確認作業の必要性を思う。
結果的に個人競技の競技時間延伸を防ぐこともできたのでは思われる。 |
| (4) 台風の影響による2時間遅れの競技開始となるが、監督や選手の声を知りたいと思いました。 |
| (5) 団体競技における選手手首等のテーピングについて、必要姓があるとは思えるが白色ではなく肌色が望ましいと考える。なお、女子は禁止されている。 |
| (6) 男子は女子に比べ、審判協議が多いように思われるが男子採点規則の審判員採点の開きに関する規則のためでもあることをご理解いただきたい。 |
| (7) 観客の皆様や参加選手には、演技前や終了後とすばらしい演技には、会場全体での応援いただき、大変盛り上がりのある大会でした。また、地元役員の方々及び補助員の生徒諸君のご尽力に対して、心より感謝申し上げます。 |

C 3 C 4 団体競技（構成主審）個人競技（構成主審）

氏名（ 安福康夫 ）

1. 採点上打ち合わせた事項

団体競技、個人競技ともに理想の新体操とは何かを話し合い、そこから目の前で見た演技に何が足りないかを判定して採点することを共通理解とした。

< 団体競技 >

- ・ 徒手体操や転回系の組み合わせにおいての団体的同時性を重視する
- ・ 難度以外の難易度を考慮する
- ・ 運動量の確認
- ・ 途切れず自然な流れを持った徒手運動の組み合わせであること
- ・ 移動に含まれる運動の数や種類、隊形変化と運動の関係
- ・ 表現と運動の違いを見極める

< 個人競技 >

- ・ 手具操作のバリエーションと難易度を見極める
- ・ 自然な徒手運動を基とした手具操作の組み合わせが重要
- ・ 投げ受けのバリエーションの確認

2. 採点上起こった事項とその処理

個性的なユニフォームのチームがあったが、競技規則上の違反はしていないと判断して減点することはなかった。ただし新体操としてふさわしいかどうかは疑問が残った。

3. その他特記事項・意見・感想等

< 団体競技 >

上位を争ったチームは、どこも大変工夫された構成内容でそれぞれのチームカラーを見事に示していた。特に優勝したチームは、他のチームには真似のできないもので、新しい新体操の可能性をも感じさせるものであった。

全体を通じて感じたことのひとつは、運動をしながらの移動＋隊形変化など難しいことにチャレンジしているチームが増えたことである。構成としては高く評価したいことではあるが、チームによっては選手の力量を超えており、内容が伝わりにくく、結果的には得点が下がっているというところもあった。

次に運動の途切れを感じるチームが多かったことと、運動ではなく表現に偏っているチームが増えていることである。男子新体操はあくまでも徒手体操を組み合わせたものが基本であり、それが演技の初めから終わりまで自然につながるものが理想である。更なる発展のためにも、徒手体操の原理原則をふまえた運動の組み合わせを目指していただきたい。

< 個人競技 >

演技の傾向としては手具操作を増やすために自然な操作を失っている選手が多かったように感じた。自然な操作は実施上の減点ではあるが、構成上でも組み合わせの技術価値の減点や詰め込みすぎた内容ということで減点することもあるので気をつけていただきたい。

またスティックのころがしの長さが足りずに減点をした選手が複数いた。演技をする際は1mぎりぎりではなく、少し余裕をもってころがす構成にすることを推奨する。審判団の話の中で、演技中に何回かに分けてころがし、それがあわせて1mを超えていれば良いと勘違いしているのではという話もあったが、あくまでも、一度の転がしで1m以上なければならないことを再度確認しておく。

令和元年度全国高校総体 「審判員報告書」

C3・C4 種目（新体操男子）

団体競技（男子：構成主任・実施主任，女子：D1・E1）

個人競技（男子：構成主任・実施主任，女子：D1・E1）

氏名（岡田幸樹）

1 審判事前打ち合わせた事項

- (1) 順位付けを正確に判断、決断すること。
- (2) 「動きの量や質」しっかりと見極め判断すること。
- (3) 選手・監督が目指していくべき方向性を示すこと。
- (4) 審判員が全ての演技に対して自信を持って審判し、その責任において説明が出来るようにすること。
- (5) 団体競技・個人競技ともに我々、審判員や指導者、競技者そして観客の皆さん、大会を支えていただいている多くの方々に恥じる事のない審判を行うことを確認しました。
- (6) 審判技術の向上を図り、全体的な動きを見抜く力と認める力を養い、感性を磨き審判すること。
- (7) 禁止技及び高体連ルールの確認。
- (8) 大会運営に影響が出ないように時間内で判断、ジャッジすること。

2 採点上起こった事項とその処理

(1) 個人競技において：

- ア 全体的に転回運動を多用する傾向であった。また、転回運動前の動作において手具操作が行われていない選手が多かった。
- イ 全体的に手具などの落下ミスが多く採点に苦慮した。
- ウ 「手具」と「動き」の連動性や調和がとれていない選手が多かった。
- オ 難度を無理やり取ろうとして演技全体に深さ・大きさ・スピードそして柔軟性に欠ける選手が多かった。
- カ 「技」ばかりに捉われ基礎的運動部分の多様性に欠けている傾向にある。

(3) 団体競技において：

- ア どの学校も大変苦勞されて作品を創り上げて大会に臨んできていただき、審判団としても緊張感を持って審判を行った。
- イ 全体的に我々男子新体操競技が目指していくべき方向性で作品が作られていた。(団体同時性)
- ウ 徒手運動の大切さ(可動域・移動幅等)とその運動の創り上げ方によって大きく差が開いた。
- オ 団体競技において「静止」してよいのは、倒立・柔軟・バランスであり、それ以外(特に転回運動の前後)での静止が多くみられた。逆に上記の「静止」しなければならない部分において不十分さを感じた。
- オ 高校生の最高峰の競技大会であり、教育的な観点(ユニホーム・演技内容等)から不信感を持たざるを得なかった。

3 その他特記事項・意見・感想

今大会を振り返り、各審判員が緊張感の中で自信を持ってジャッジにあたってくださいました。個人競技においては、もう少し技や転回運動にとらわれないでしっかりと上肢、下肢の連動性のある徒手運動に着目して欲しいと感じた。手具の落下が多かった。

団体競技においては、上位層と下位層の差が大きく、上位校においては特に熟練・洗練されていて素晴らしい演技が印象的だった。特に優勝校にいたっては観衆も含め大半の皆様が納得する素晴らしい演技構成及び内容であったと思います。

監督さんや選手の創意工夫された演技に対し、必ずしも結果と結びつかなかったチームについても転回系と徒手系のバランス的な面や運動量及び質の高さを感じた大会でもあった。

今後、審判団としても新体操の正しい方向性や指針をしっかりと示し、ダイナミックさの中に美しい体操や極限から極限の動きを追求し、可動域の大きさの重要性や柔軟性の大切さをもっと見極め評価していくべきだとも感じた。

今大会において、さほど台風の影響もなく、大きな怪我もトラブルもなく成功裡に終わったことは、大会関係役員の方々や地元の皆様の懸命なご尽力と微細にわたる目配りや気配りがあったおかげで思い出に残る素晴らしい大会にできたのだと大変感謝しております。特に補助員の生徒のさわやかな挨拶と大会終了直前の撤収作業に直近に行われる柔道部生徒のご協力に教育活動の偉大さを感じ、心洗われる思いで鹿児島を後にしました。さらに審判技術の向上を目指していきたいと思えます。

皆様、本当にありがとうございました。